

4
5
6
7
8
9
90
1
2
3
4
5
6
7
8
9
100
1
2
3
4
5



八犬傳丈艸齋

三十二編上

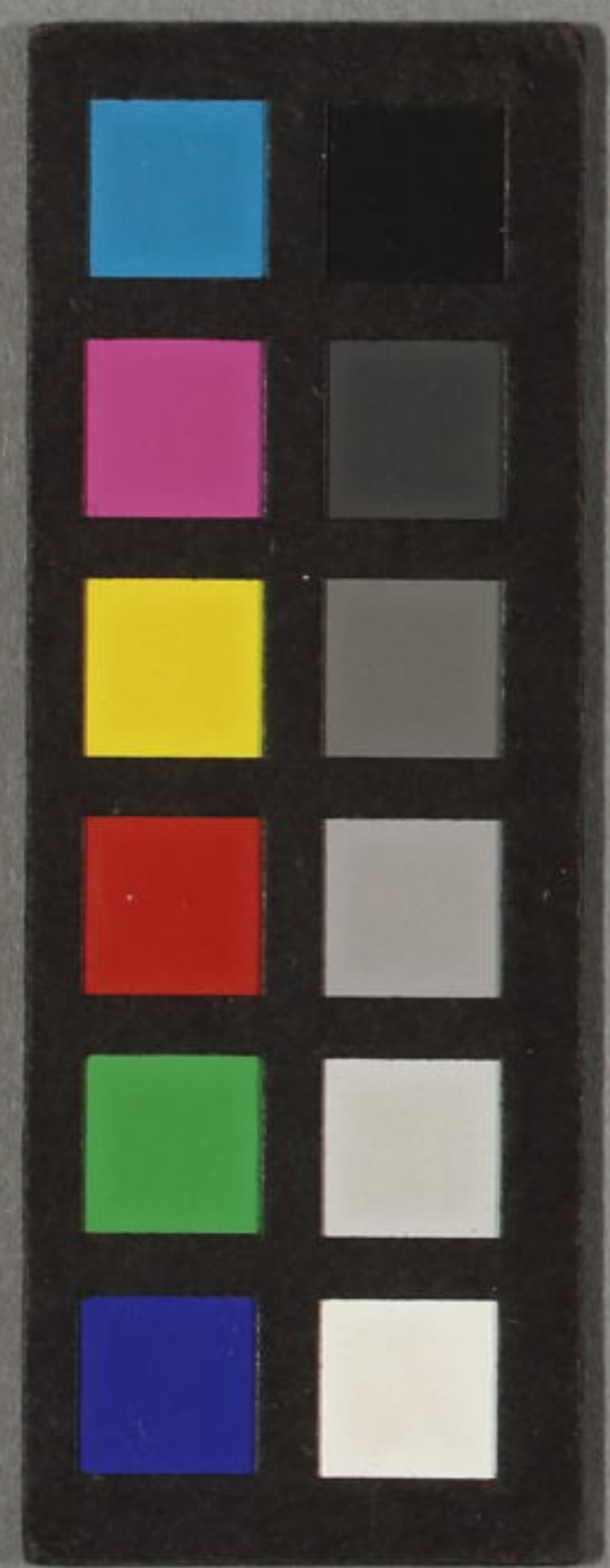
五右衛門仙果齋

舟川玉貞齋

三十二編下

江英子持

介麴曲石之國





雪梅

芝潭

大ニ双帝

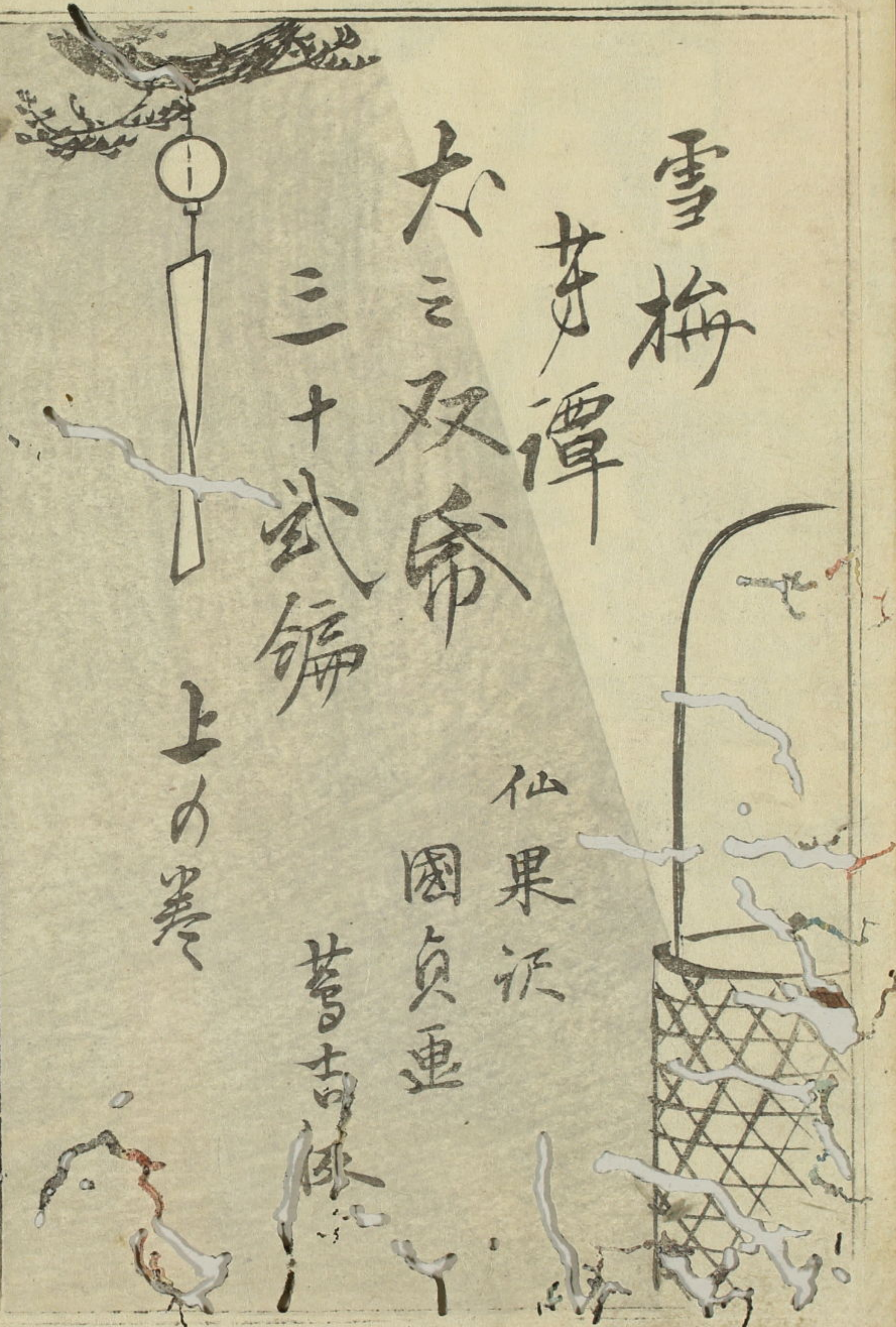
三十式編

上の巻

仙果沃

園貞画

菅吉画



在下

三十未滿の頃書費感和亭の自来也物語を鈔録せしことありしなり

故の無益骨折也と制ししは辞筆採りし然るは近年下り

藁杓と脱んとする時本店紅英堂の好意黙止ししを以て大傳と抄

えり當否とて關ふべしありねと賣るる縁喜と彼此拙作を

三間屋の殖て去年今年の瘦馬お荷が杉樹連なりありしと其れに

月見の花見から四季のうつるも白雪の精とて御覽とせ合巻をりも二十帙の

内外に許多の過具師匠の諭言もあはれ鈔録物の徐とて手を引ん

ぬありとて校免死と走狗煮らるといふ范蠡大夫種と諫古語小自耻業

敏系昌のめ下のき弥此大の恩の忘と下と此る粗畧の書振せし意をて原

文の取捨の辛苦自作劣らむ其の本傳と比校せし知れぬとて

甲寅新刊

四

菅吉丁山果

三

七十三十一

淫婦藤魚



泥海土大次

石龜屋次團太





凝成白露玉未全
環會流離自然不儘
めづりあふひあり

あまのこころ

毛

首月院...
 仁政...
 凝成白露玉未全...
 環會流離自然不儘...
 めづりあふひあり...
 あまのこころ...
 毛...

此の人物は、
明治の末から大正の初めにかけての
文壇の中心人物として活躍した
作家の一人である。その代表作は
『浮城物語』、『浮城物語』である。

この人物は、
明治の末から大正の初めにかけての
文壇の中心人物として活躍した
作家の一人である。その代表作は
『浮城物語』、『浮城物語』である。



この人物は、
明治の末から大正の初めにかけての
文壇の中心人物として活躍した
作家の一人である。その代表作は
『浮城物語』、『浮城物語』である。



この人物は、
明治の末から大正の初めにかけての
文壇の中心人物として活躍した
作家の一人である。その代表作は
『浮城物語』、『浮城物語』である。



千住河

つれづれに... ありあけ

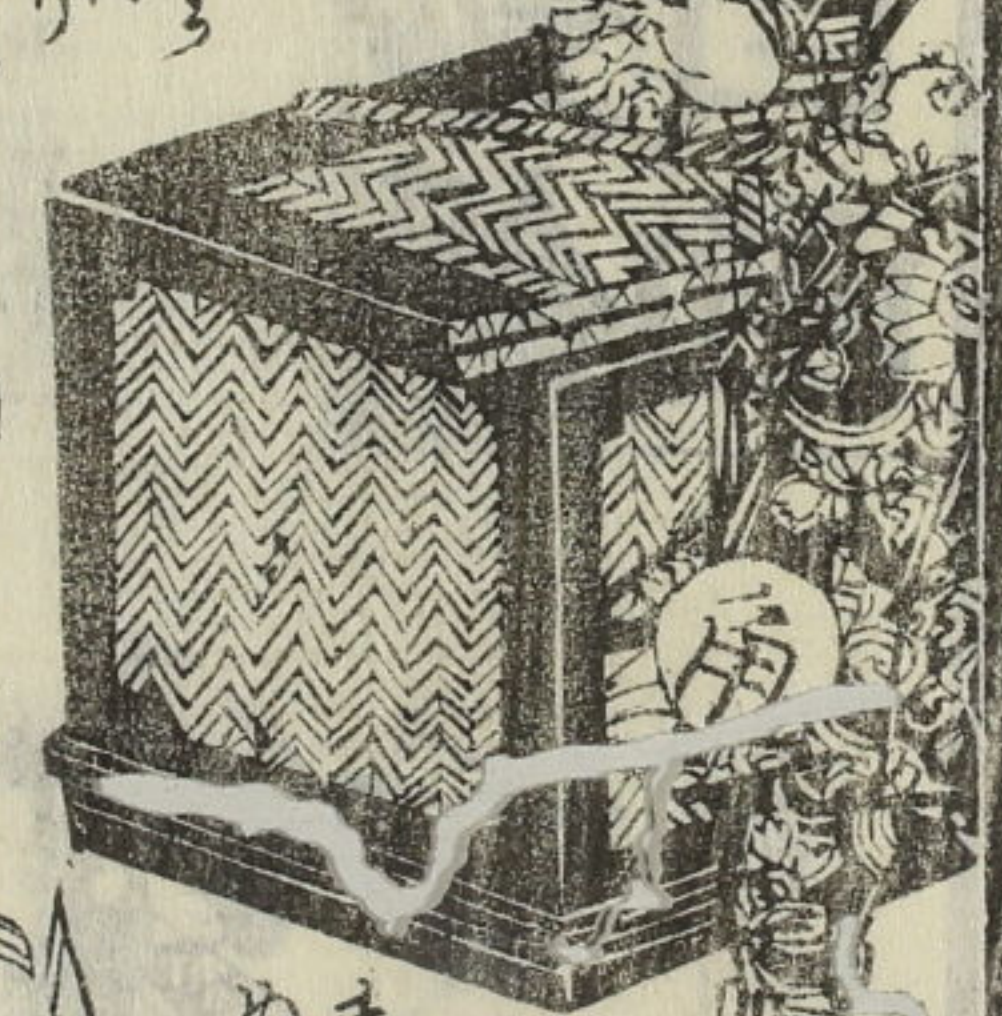
梅田... 三夏行... 船... 徳...



白芙蓉 一色三十六元
香二色 一色
あぐね大極... 一袋
右の... 一袋
あぐね大極... 一袋



あぐね大極... 一袋
右の... 一袋
あぐね大極... 一袋



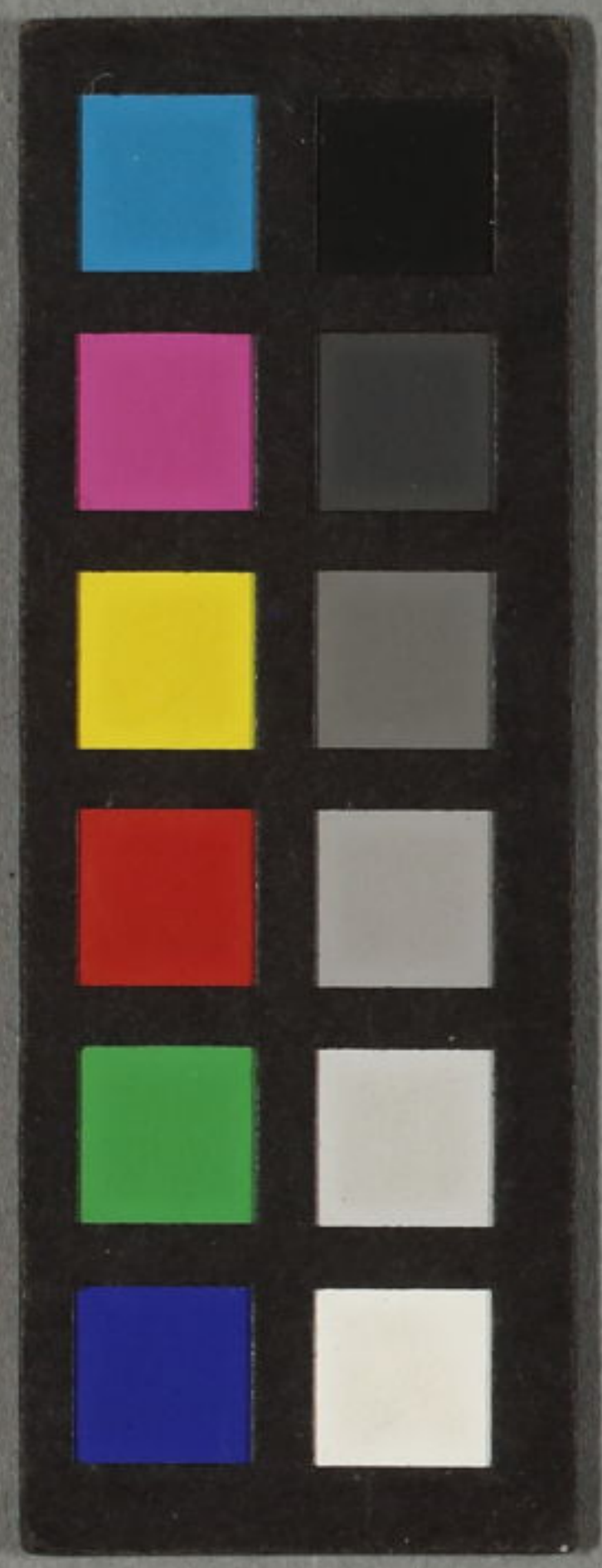
あぐね大極... 一袋
右の... 一袋
あぐね大極... 一袋

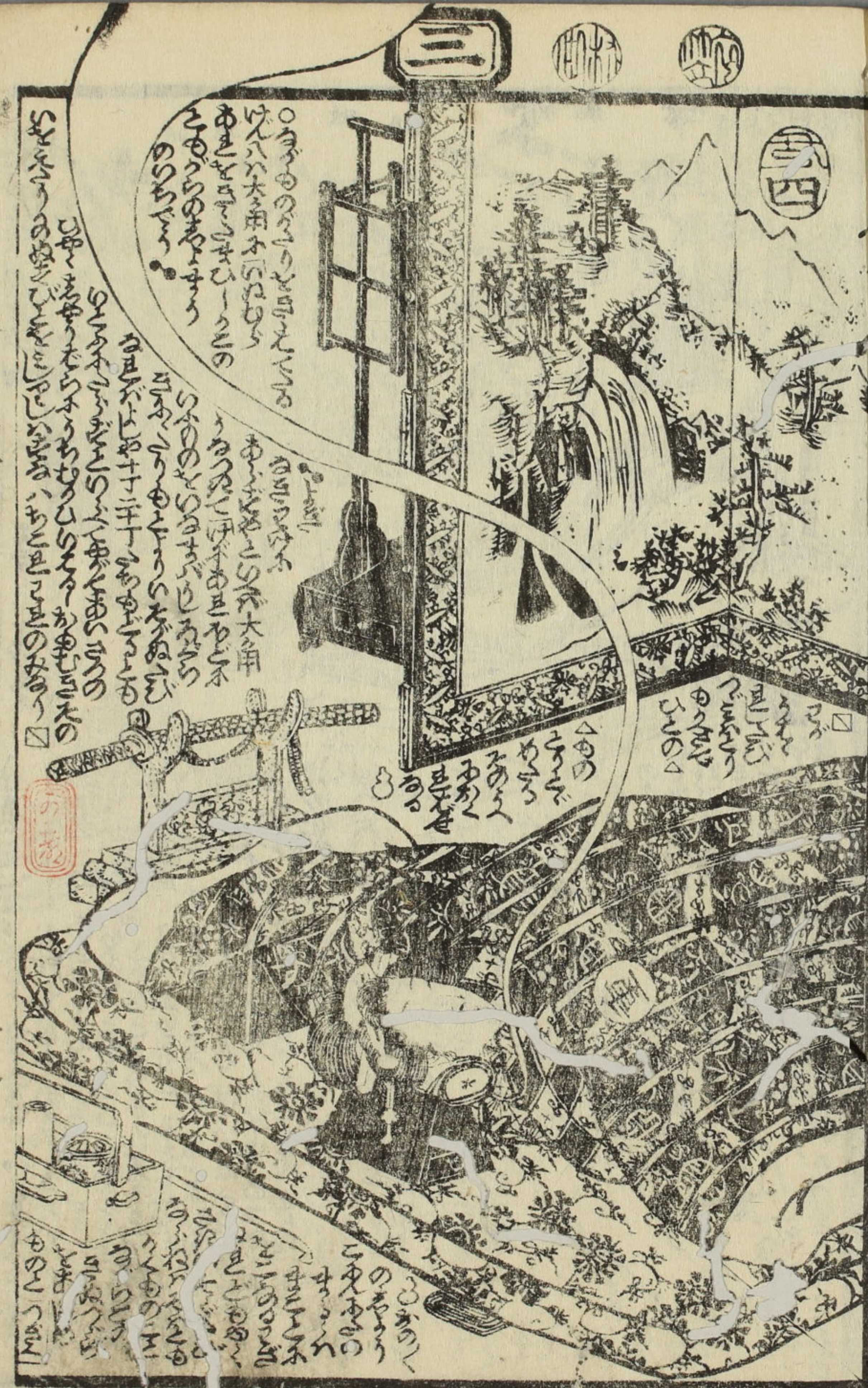


あぐね大極... 一袋
右の... 一袋
あぐね大極... 一袋

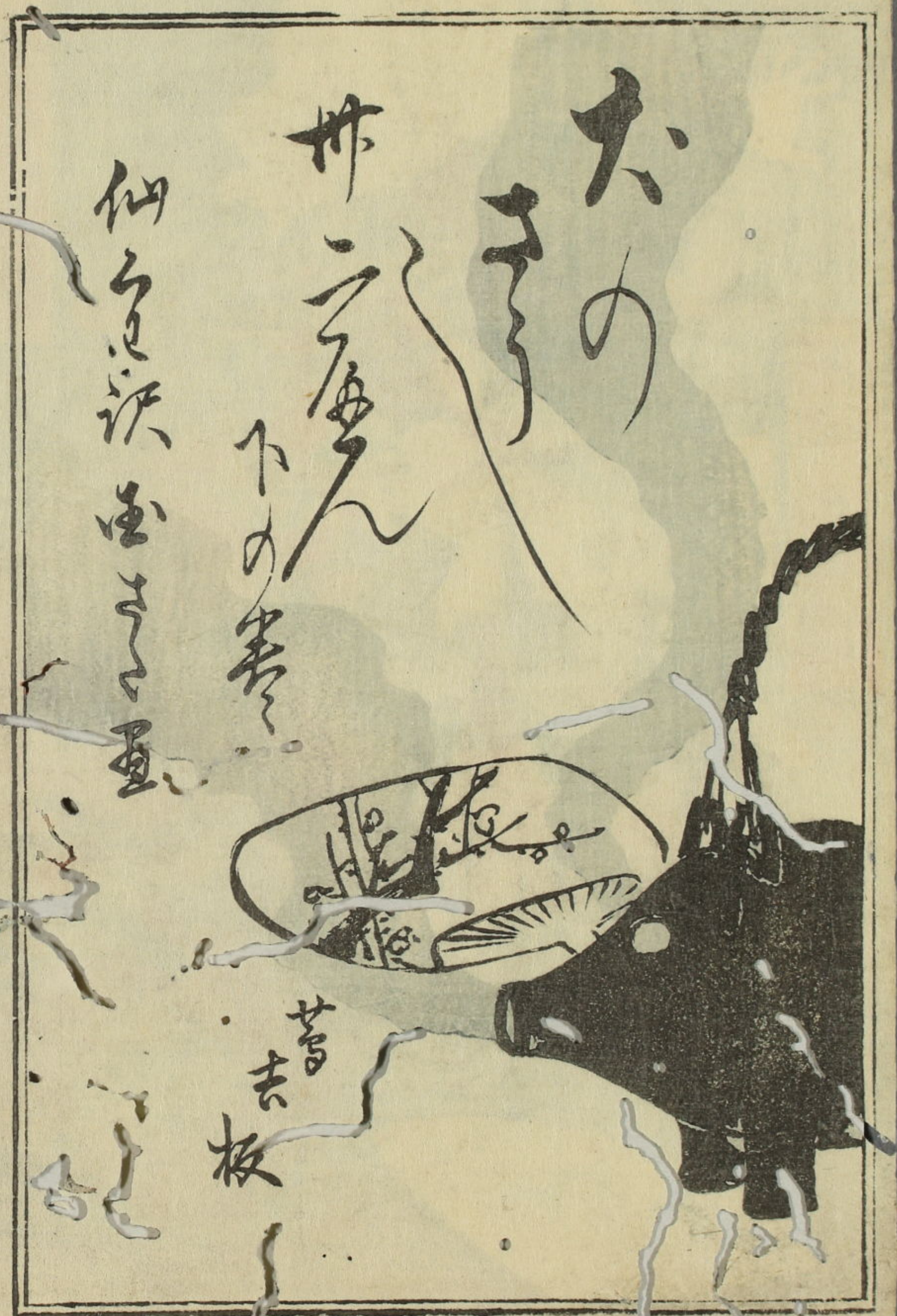


7
8
9
80
1
2
3
4
5
6
7
8
9
90
1
2
3
4
5
6
7





三十一

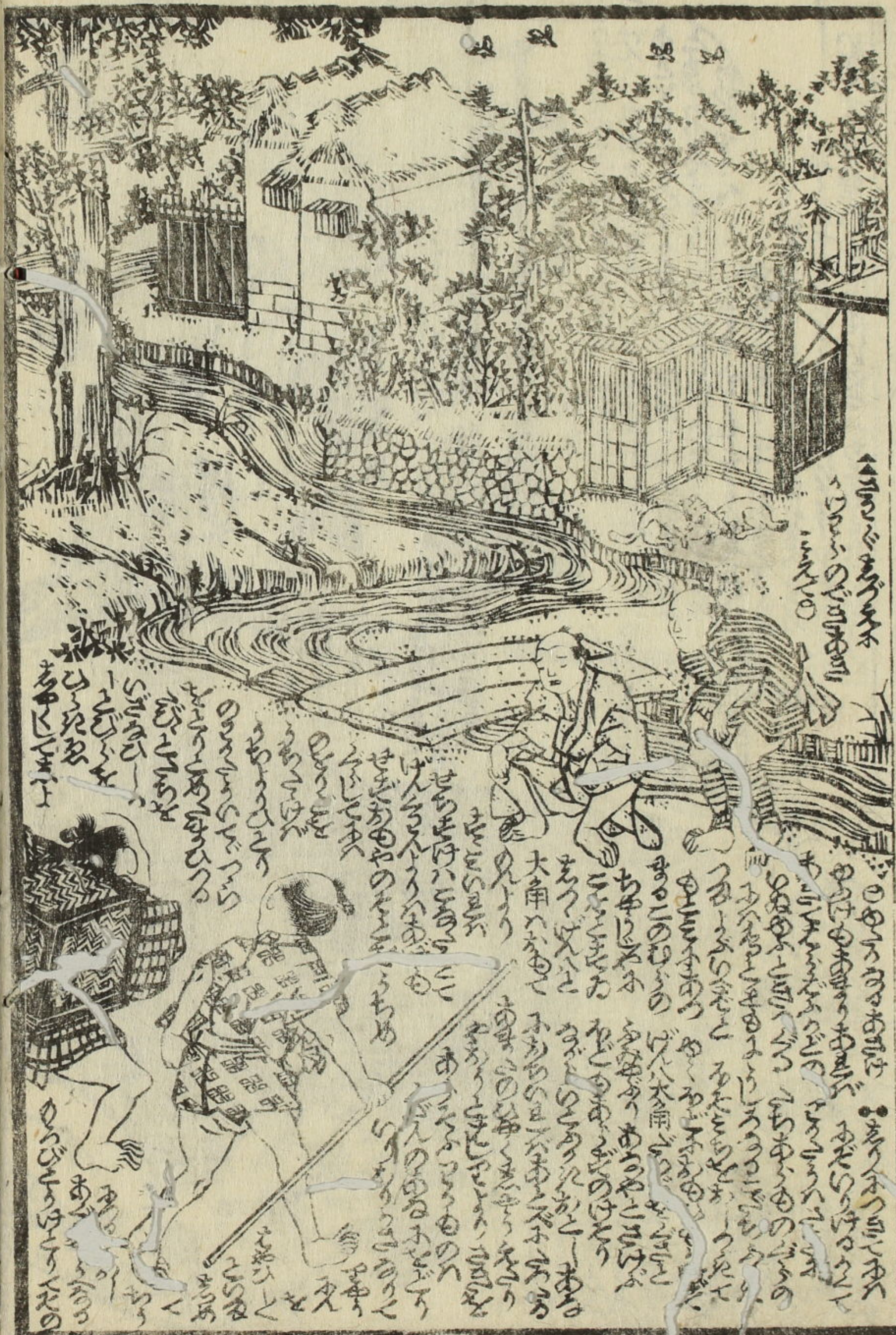


大の
まの
井之屋
下の書
仙の決玉の書

苔
板



Handwritten text in a cursive style, likely a transcription of a play or a commentary on the scene. The text is arranged in vertical columns, starting from the top right and moving towards the left. Some characters are larger and bolder than others, possibly indicating emphasis or specific roles.



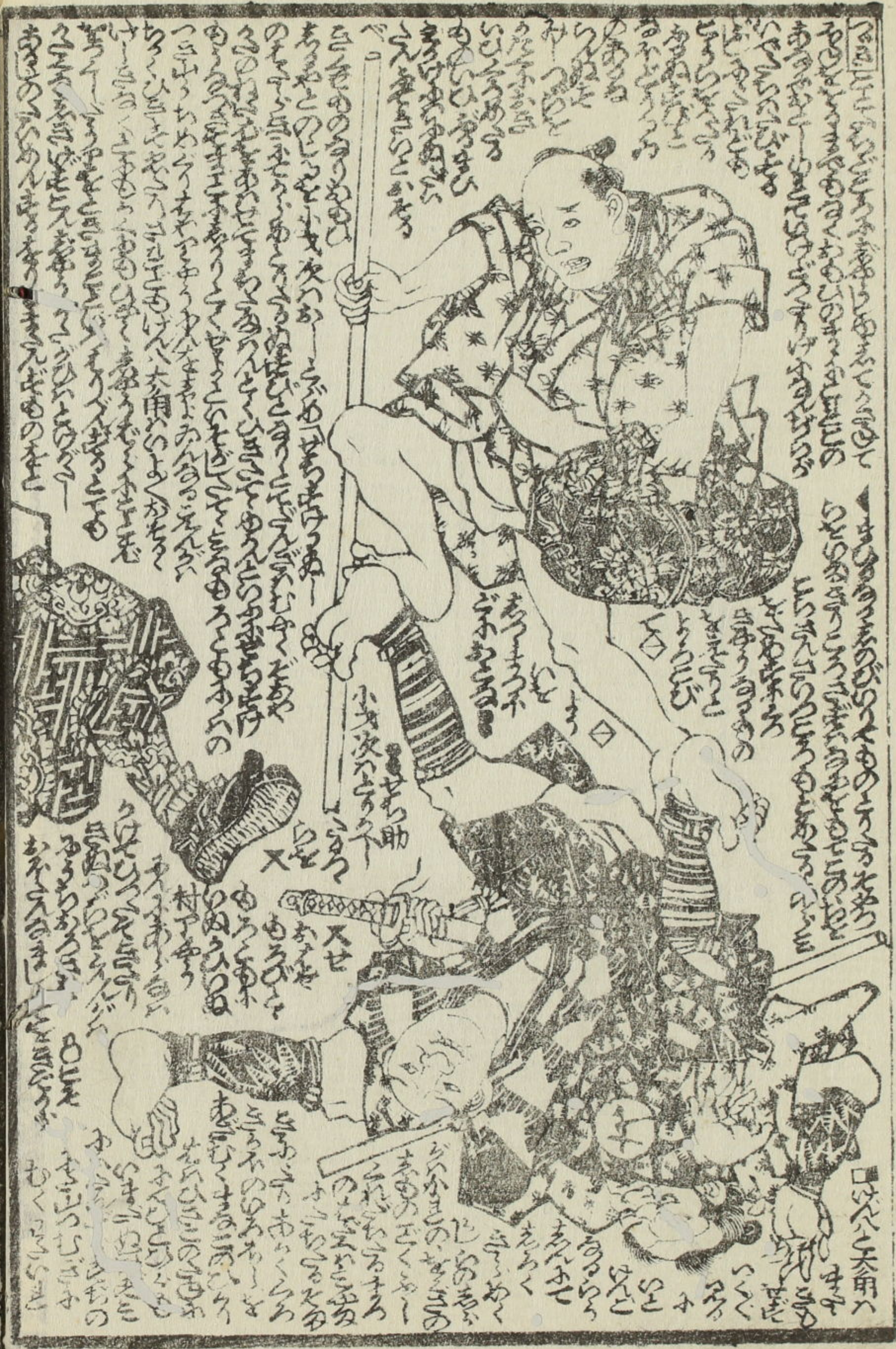
Handwritten text in a cursive style, continuing the transcription or commentary from the left page. The text is arranged in vertical columns, starting from the top right and moving towards the left. The style is consistent with the text on the left page.

Handwritten text in a cursive style, continuing the transcription or commentary from the left page. The text is arranged in vertical columns, starting from the top right and moving towards the left. The style is consistent with the text on the left page.



ノノノノノ

ノノノノノ





三十一

五



三十一

五



あつちのものがあつちのものは
うらやましくも思ふ
きつちのものがあつちのものは
うらやましくも思ふ
ものゆゑに志あるまじき
とんとんをうらやましくも
うらやましくも思ふ
よふかきあつちのものは
よふかきあつちのものは

か

あつちのものは
あつちのものは
あつちのものは
あつちのものは

あ

あつちのものは
あつちのものは
あつちのものは
あつちのものは

あつちのものは
あつちのものは
あつちのものは
あつちのものは

あつちのものは
あつちのものは
あつちのものは
あつちのものは

あ



あつちのものは
あつちのものは
あつちのものは
あつちのものは

あつちのものは
あつちのものは
あつちのものは
あつちのものは

あつちのものは
あつちのものは
あつちのものは
あつちのものは

あ

あつちのものは
あつちのものは
あつちのものは
あつちのものは

あ

あ



Vertical Japanese text on the left side of the top panel, including characters like 大角 and 大角.



Vertical Japanese text on the right side of the bottom panel, including characters like 大角 and 大角.

